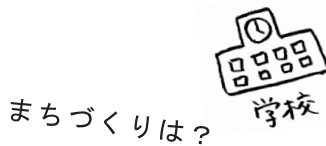
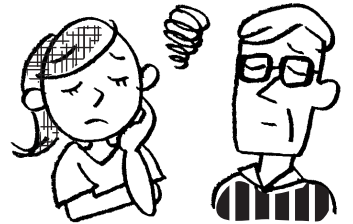


戸山の合意は苦渋の決断。

戸山・伴トンネル  
長年の悲願・西風新都への直結トンネルは唯一の地元要望だったのでは…?



そんないつになるかわからない話でいいの?



## ▶ このままでは戸山に対してゼロ回答になってしまいます。

平成32年度供用開始に向け、湯来町水内地区に新設工事中の恵下(えげ)埋立地。ごみの運搬車両通行や浸出水送水ルートにかかる戸山地区においては、苦渋の合意締結に際し、長年の悲願である西風新都への直結トンネルを唯一の要望としました。

広島市の道路整備担当は、広島市と戸山地区の取り交わした合意書(覚書:右)下線部について、「西風新都環状線の整備の終わる平成42年度(現計画)までは着手しないこと」「環状線の整備が遅れれば更に遅れること」を示していると話しました。

これでは整備することを決めたのではなく、西風新都環状線が完成するまでは整備しないということを決めた覚書ということになります。

広島市との解釈の違いがあるのではないのでしょうか?

地元対策事業及びまちづくり支援に関する覚書(地元対策事業部分)

広島市(以下「甲」という。)と戸山学区町内会連合会(以下「乙」という。)とは、別途締結した「埋立地及び浸出水放流管等の建設及び供用に関する合意書」(以下「合意書」という。)第8条の規定に基づき、甲・乙協議の上、次のとおり覚書を締結する。

(地元対策事業)

第1条 乙は、埋立地、浸出水放流管等の建設及び供用に伴う地元対策事業として、「西風新都と戸山地区とをトンネルで直結する新道の建設」を要望する。

2 甲は、前項の要望について、次のとおり対応するものとする。

対応方針

現在、本市では、経済面や生活面で深く結びついている近隣23市町と共に「200万人広島都市圏構想」の実現に向けて、様々な対策に取り組んでいるところです。

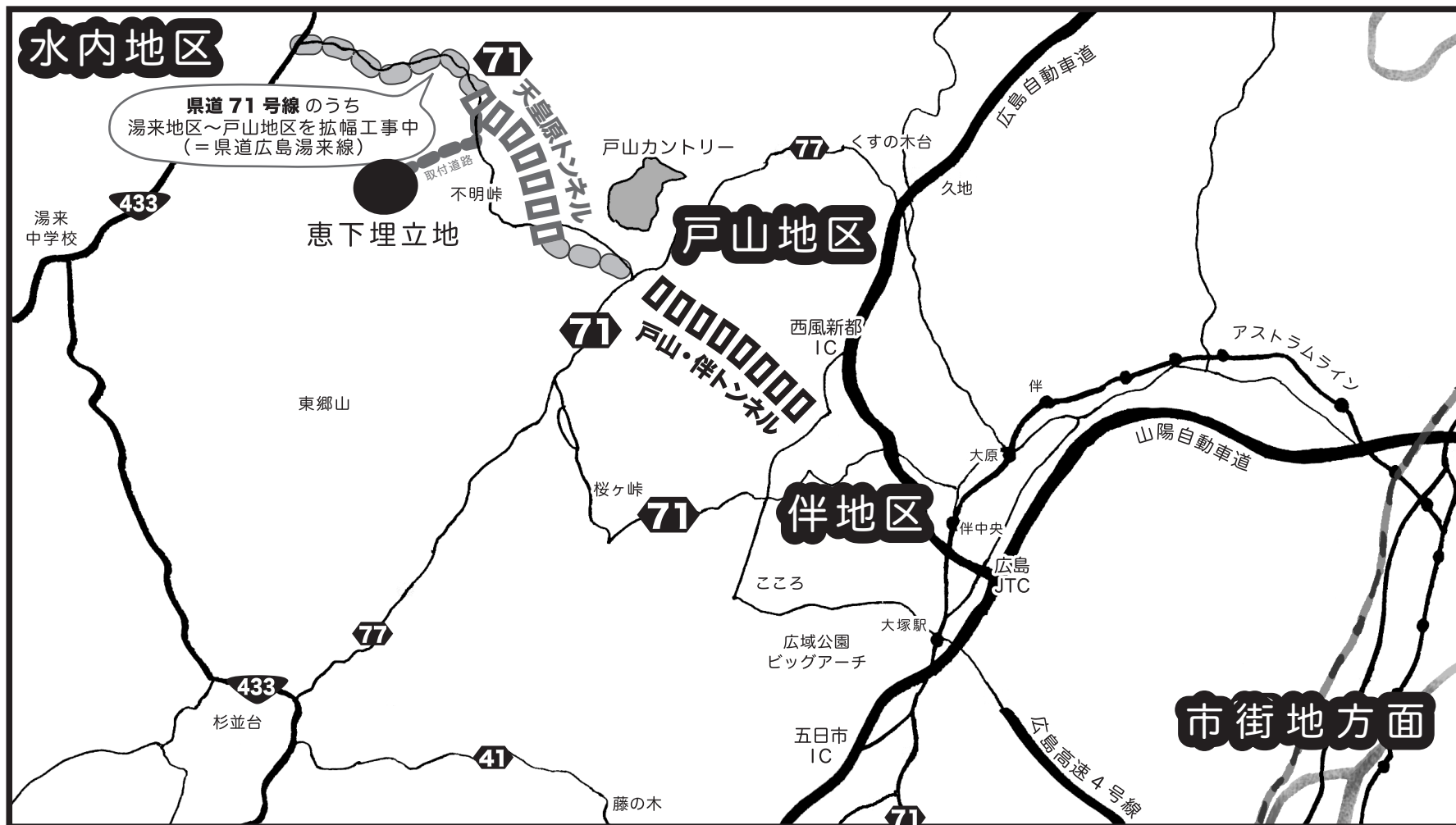
そうした中、御要望の「西風新都と戸山地区とをトンネルで直結する新道」は、現在建設中の県道広島湯来線(湯来地区～戸山地区)と相まって、戸山地区・湯来地区はもとより、安芸太田町をはじめとする圏域の北西部地域と、本市の副都心である西風新都や都心部とを結ぶ広域的な道路交通網として、より沿線地域の生活に密着した道路が整備されることになり、圏域全体のヒト・モノ・カネの循環を促進し、その活性化に寄与するという効果が期待できると認識しています。

したがって、本市としては、県道広島湯来線や西風新都環状線の整備を着実に進めていく中で、御要望の新道をこれらの道路整備の延長線上に位置づけ、新道の整備が圏域全体に及ぼす経済波及効果や活性化への寄与度を高めるために必要となる対応をしっかりと行っていきたいと考えています。

こうした観点に立ち、まずは、新道の想定ルートや整備効果等についての調査・検討に着手します。

戸山・伴トンネルの早期実現を  
みんなで働きかけましょう!

# ▶ 戸山・伴トンネルが実現すれば...



## (1) トンネルはまちづくりにかかせません

戸山地区に定住する人が増えれば、人口減少に歯止めをかけることができます。そのためには都心への直結道路が必要不可欠です。これにより西風新都へのバス便が増えれば、通勤・通学時間も短縮され、病院や買い物も楽になり、戸山の魅力は大きく変わります。

## (2) ごみ運搬車両が町中を通らなくなります

今のままでは、ゴミの運搬車両は、くすの木台と桜ヶ峠から、戸山のメイン道路を通行して恵下埋立地に向かいます。しかし、戸山・伴トンネルができると、戸山のメイン部分を通過せずに行けます。

## (3) 道路整備は 利用者の多い地区からするのが合理的です

広島湯来線の水内から阿戸までは、狭くカーブが多く、危険で不便です。しかし、恵下埋立地の工事車両もゴミ運搬車もすべて阿戸地区を通過するのに、水内側が先に工事される計画です。交通量が少ない側が整備されてもメリットがありません。通行量の多い方から整備すれば、水内地区・戸山地区ともに便利になります。



私たち、「阿戸の環境を守る山林地主の会」は、  
戸山・伴トンネルの建設促進に立ち上がります！

平成29年7月18日に、安佐南区役所農林建設部地域整備課の職員3名が「山林地主の会」のメンバーに会いに来られました。戸山学区町内会連合会と恵下埋立地建設事務所との合意書の取り交わしを受けて行動したようです。

山林地主の会は、「県道71号線の建設予定のトンネル（以後天皇原トンネルと仮称する）にむやみに反対しているのではなく、戸山・伴間のトンネルを開通させるなら、天皇原トンネル予定地の山林を譲渡することを考えると話しました。まず、水内地区と戸山地区が共に受益し整備効果の高い戸山・伴トンネルを開通させ、その後、水内地区に繋がる天皇原トンネルを開通させるという順番です。水内地区から西風新都や都心に向かうにも戸山・伴トンネルによる利便性の向上が必要です。

どちらのトンネルを先にすべきか専門家が分析しても、答えは同じだと思います。

予算的には、現時点で天皇原トンネルの整備費として約60億円が確保されているようですから、これを有効に活用して、まず受益する人の多い伴へのトンネルを整備すべきではないでしょうか。

山林地主の会としても、戸山・伴トンネルの一日でも早い実現に向けて協力したいと申し入れしました。

戸山の住民が一丸となって、戸山・伴へのトンネルの実現に向けて頑張ろうではありませんか。皆様の積極的な参加をお願いします。

みなさんの疑問や  
要望の声を届けましょう！

◆広島市環境局施設部  
恵下埋立地建設事務所

TEL: 082-923-6011  
FAX: 082-923-6022  
Mail: ka-ege@city.hiroshima.lg.jp  
〒731-5135  
広島市佐伯区海老園二丁目11番41号

◆広島市恵下埋立地  
JV工事事務所  
(大林・洋林・宮川建設工事JV)

TEL: 082-830-4007  
〒731-3271  
広島市安佐南区沼田町大字阿戸166番地

(めぐみのもと)  
恵下通信 vol.1  
2017.9.30

発行：  
阿戸の環境を守る山林地主の会  
(沼田町阿戸 1812)

福永 博明 082-839-3144  
衣笠 昭彦 082-839-3811  
小山 正則 082-839-2745